



データシート・キャプチャ・ネットワークスキャナー

まずPCにスキャンしてから、アップロードしますか？ お使いのスキャナーは、PaperOfficeへ 直接届きます。

PaperOfficeは、ネットワークスキャナーや複合機に、専用のSFTP受信箱を用意します。新しいスキャンは、アップロードダイアログに表示されるか、Connector経由で自動的にWorkspaceに届きます。受付、事務チーム、毎日紙をスキャンするすべての方のためのツールです。

一目で分かること

スキャナーごとに専用の受信箱。ユーザー名とパスワードはPaperOfficeが生成し、保存先フォルダは/inboxです。繰り返し失敗したログインでは送信元IPがブロックされ、各エンドポイントには1 GBの容量があります。

01・概要

紙の束はスキャナーの前にある。 スキャンデータは、もう届いている。

受付では、人々がPCのフォルダにスキャンするか、スキャンを自分宛てにメールします。その後、誰かがすべてを手作業でアップロードします。Scanner Endpointを使うと、機器がすべてのスキャンをPaperOfficeへ直接置き、アップロードダイアログまたはConnector経由でWorkspaceに取り込みます。

プロトコル

ポート2022のSFTP、古い機器向けにポート21のレガシーFTP

保存先フォルダ

エンドポイントの/inbox。ユーザー名とパスワードはPaperOfficeが生成

WORKSPACEへの経路

アップロードダイアログの

スキャナー

タブ、またはConnector経由で自動

保護

エンドポイントごとに密閉されたフォルダ、失敗ログイン後のIPブロック、1 GBの容量制限

**PaperOfficeが受信箱を運用**

SFTPサーバーはPaperOfficeが運用します。機器は、ポート2022でsftp.paperoffice.aiへ外向きに接続します。

エンドポイントごとの認証情報

PaperOfficeはユーザー名と、ランダムな20文字のパスワードを生成します。アカウントの所有者として、いつでもアプリで再度確認できます。

アップロードダイアログでライブ表示

スキャナー タブでは、ファイルの転送が完了するとすぐに新しいスキャンが表示されます。どのアップロードの場合とも同じように、Workspaceと AI-DMSティアを選びます。

Connector経由で自動取り込み

Connectorが、新しいスキャンをちょうど一つの保存先Workspaceへ、スケジュールに従って取り込みます。既定は30分ごとで、一分単位に変更でき、またはWebhook経由で即時に実行できます。

書きかけのファイルは除外

スキャンは、サイズとタイムスタンプが二回の確認にわたって変わらなかった場合にのみ提供されます。検証済みのアップロード後にのみ削除されます。

エンドポイントごとに密閉

各エンドポイントには専用のフォルダがあり、/inboxだけが書き込み可能な経路です。3回失敗したログインのあと、送信元IPは24時間ブロックされます。

02・仕組み

一度設定する。 あとはスキャンするだけ。

Scanner Endpointは、PaperOfficeがお客様のために用意するStorage Mountです。Webアプリで一度作成し、機器のスキャン送信先として詳細を入力します。

1 エンドポイントを用意する

Document AI > Storage Mounts の下で Storage Mountを追加 をクリックし、インポートソースとして使用 を選んで、接続の種類として スキャナエンドポイントとして提供 を選びます。

2 機器を設定する

スキャナーにSFTPのスキャン送信先を作成します。アプリに表示されるホストとポート、ユーザー名、パスワード、そして保存先フォルダとしてちょうど/inboxを入力します。

3 アップロードダイアログのスキャン

Workspaceで ドキュメントを追加 を選び、スキャナー タブを開きます。新しいスキャンはそこでアップロードできる状態になっています。

4 またはConnector経由で自動

Document AI > Connectors で、エンドポイント上のConnectorを作成します。スケジュールに従って、新しいスキャンを保存先のWorkspaceに取り込みます。

技術データ

機能	詳細
SFTP	sftp.paperoffice.ai、ポート2022、ユーザー名と、アプリに表示される20文字のパスワード
レガシーFTP	ftp.paperoffice.ai、ポート21、パッシブモードはポート21000から21100まで。暗号化されているのはSFTPです
保存先フォルダ	/inbox。エンドポイントで唯一の書き込み可能なフォルダ
容量	エンドポイントごとに1 GB。ファイルは受信箱に最大24時間残ります
保護	エンドポイントごとの専用フォルダ。10分以内に3回失敗したログインのあと、24時間IPをブロック
取り込み後	受信箱のファイルを削除（既定）、または残す
プラン	エンドポイントごとに、プランの中でStorage Mountが一つ分として数えられます

03・実際の活用

一台の機器、多くの経路。 チームがどう活用しているか。

受付がメールのスキャンを送る

受付の複合機が、SFTPでエンドポイントにスキャンします。Connectorが30分ごとにすべてのスキャンを受信箱のWorkspaceへ届け、必要に応じて、Split Agentが束を分けます。

部署ごとに分ける

経理と人事がそれぞれ専用のエンドポイントと専用のConnectorを持つので、各部署のスキャンはそれぞれのWorkspaceに届きます。

個別のアップロード

一枚ずつの書類は、事務担当者が正しいWorkspaceでアップロードダイアログを開きます。新しいスキャンはスキャナータブで待機し、そこからアップロードされます。

よくある質問

どの機器を接続できますか？

ユーザー名とパスワードを使い、SFTPでサーバーにスキャンを送るネットワークスキャナーや複合機です。古い機器はレガシーFTPを使います。まずテストスキャンを送ってみてください。

受信箱のファイルはどうなりますか？

アップロードまたは取り込みが成功すると、PaperOfficeは受信箱のファイルを削除します。残すことも選べます。遅くとも24時間後に、受信箱は自動的に空になります。

アップロードダイアログにスキャナーが表示されないのはなぜですか？

エンドポイントのアクションタブで、アップローダーでスキャン元として提供 をオンにする必要があります。新しく作成したエンドポイントでは、既定でオンになっています。

後から認証情報を再度確認できますか？

はい。アカウントの所有者として、エンドポイントのホスト、ユーザー名、パスワードを、いつでもアプリで再度表示できます。たとえば、二台目の機器のためにもです。

はじめに

今日、最初のスキャナーを接続しましょう。

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、**Document AI > Storage Mounts** でScanner Endpointを用意して、機器の保存先フォルダに/inboxを入力してください。

paperoffice.ai/ja/ai-network-scanner-scan-to-sftp-multifunction-printer



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-network-scanner-scan-to-sftp-multifunction-printer

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase